

| | | |
|-----------|-----------|---|
| 1 | 審議会名 | 真田地域協議会 |
| 2 | 日 時 | 平成26年9月17日(水) 午後7時00分から午後9時00分まで |
| 3 | 会 場 | 真田地域自治センター3階 301会議室 |
| 4 | 出席者 | 一之瀬勤委員、小林史夫委員、小林満子委員、小宮山民夫委員、重野寛子委員、竹村昇吉委員、竹村尚美委員、田中新平委員、長崎伊登子委員、長崎理恵子委員、中村泉委員、纒沢剛史委員、堀内朝子委員、松井よし枝委員、三井秀雄委員、宮下俊哉委員、村田眞理委員、若林正徳委員 【欠席委員】2名 |
| 5 | 市側出席者 | 高橋センター長、藤沢地域振興課長、山宮市民生活課長兼健康福祉課長、滝澤産業観光課長、依田建設課長、佐藤上下水道課長、柳沢教育事務所長、柳沢真田消防署長、飯島地域政策係長、西澤主査、伊藤主査 |
| 6 | 公開・非公開等の別 | 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開 |
| 7 | 傍聴者 | 1人 記者 0人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成26年10月28日 |
| 協 議 事 項 等 | | |
| 1 | 開 会 | (小林満子副会長) |
| 2 | 会長あいさつ | (三井会長) 今回で、分科会ということで2回目の真田丸に対する地域の対応を協議していただくこととなります。報道でご存知かと思いますが、軽井沢町と長野県で再来年のG8サミットの誘致をしたいということで活動が始まっています。それから、マイクロソフトのビル・ゲイツ氏の別荘を建築中ということで、軽井沢町は国際的なイメージがでてきております。元々、軽井沢町はそういった地域であります。それらの力を利用しながら、この地域の魅力を高めていけたらと思っています。我々の地域の中におきましても、やはりここにしかない魅力を、うまく見つけだし活かしていけたらと思いますので、ご協議をよろしくお願いします。 |
| 3 | センター長あいさつ | (高橋センター長) 現在、9月議会が開催されております。9月議会には真田丸に向けたハード整備等の補正予算で多くの項目が上程されております。30日が最終日でございますが、そこで補正予算が決定になる予定で進んでいる状況であります。真田丸の放送まで残すところ1年3ヶ月余りということで、ハード整備につきましては、時間があるようでないという中でございます。昨日、市長と上田合同庁舎へ行ってまいりました。本日の信濃毎日新聞にも掲載されておりますが、県内の10の地方事務所の出先機関があり、今後の目標、施策について阿部知事に提言をしたという記事が掲載されておりました。地元の上小地方事務所は最優先としてなにを提言したのかということ、「大河ドラマ真田丸による観光誘客」ということで県知事に提言をしたということでございます。これからは県に対しましては、市としても、ここはやって欲しいということについては、これからは要望していきたいと思っております。上田市につきましては、ハード整備、ソフトにつきましては地域協議会の皆さんからいろいろな御意見を頂戴した中で、補正予算対応、新年度予算対応の中でできることを確実にこれから進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。 |
| 4 | 協議事項 | (三井会長 進行) |
| | (1) | 前回決定事項確認 ～事務局から説明～ (会長)ご質問等ありますか。 ～質問なし～ |
| | (2) | 地域振興基金の活用について |

～地域振興課長から説明～

(会長) ご意見、ご質問等ありますか。

(会長) 基金の使い方ですが、どういう使い方をしたらいいのかお聞きしたい。いま必要なところにどんどん使っているものなのか、或いは先を見込んで残しておくべきものなのか、この基金が無くなってしまった場合はどうなるのか、そのへんのところをお聞きしたい。

(藤沢地域振興課長) この基金は合併前から各市町村が持ち寄った基金ということで、地域の課題解決、地域振興に資する事業に使っていきたいということで作られたものです。限られた予算の中ですので、十分予算が配当にならない場合に、基金を活用させていただいて地域振興のために活用しております。早く使ったほうがいいのかどうかという議論ですが、基金を残しておくべきものなのかというよりも、地域として必要な事業に使っていくべきものだという判断の中で活用していただくという方法がよろしいのではないかと考えております。

(会長) 資料3ページに充当額の記載があります。これだけお金がかかるのだが、なかなか予算がとれないということになった場合、でも実行しないと地域がよくなる、よって充当するという事です。まずここに掲載されている3つの事業の必要性を皆さんのほうで感じていただいて、予算がとれなかったならば充当してでもやりたいということになるかと思えます。それから基金が無くなった場合はどうなるかということになりますが、地域予算ということを市のほうでは考えております。ですから今後のことの中においては、基金に代わって地域振興についての予算化ということも生まれてくると思っておりますが、そのへんはどうでしょうか。

(藤沢地域振興課長) これに代わるものというのは現時点では言えないところがございます。いずれにしても、合併前の旧真田町の基金でございますので、地域のために活用していくということです。やがては使い切っていくと思っておりますが、その時には新市のほうで基金に代わるもの、或いは現在概ね事業費の1/2を活用させていただいておりますが、他の補助事業等を活用した中での活用方法がでてくるものと思えます。

(センター長) この基金につきましては平成18年に合併した際に、旧丸子、真田、武石に、それぞれの持ち寄り基金があったということです。9月議会の一般質問で、武石のご出身の議員さんからそれぞれの基金がどういう状況なのかという質問がでました。ではどれくらい基金があるのかということですが、平成25年度末の残高ですが、旧上田は約2億円、丸子は約3億7千万円、武石は約2億9千万円、真田の場合は先ほど地域振興課長が説明した内容でいままで使ってきました。丸子はいろんな地域の課題について約1億5千万円を使ってきております。武石は、課題解決のために1億1千万円使ってきているということです。これから、それぞれの地域で大きな課題を抱えております。例えば武石地域では宿泊施設の雲溪荘というところがあります。これがたいへん老朽化しているということで、このまま行政としてやっていくのか、それとも廃止するのも含めて地域協議会の中で2年ほど協議を続けていただいております。基本的には基金があるということの中で、将来基金を充当してでも継続して欲しいという武石の地域協議会のご意見があったようで、それが現在進行形になっています。そのよりどころが基金でございます。丸子の場合にも、昔建築したビルが古くなってきて、それを改修しなくてはいけないとかそういったところにも使ってきていると、今後の課題もたくさんあるということでございます。真田地域の課題は、一つは真田丸の対応をどうしていくのか。もう一つは菅平の国際的なスポーツリゾート、お客様をお迎えするにあたっての足りない施設もございます。これについての充当等も今後は考えられると思っております。いろんな課題をそれぞれの地域が抱えております。大切にこの基金は使っていかななくてはいいませんが、課題があるなら使うべきものと思っております。

(委員) 真田氏発祥の件に関しまして大河ドラマの関係事業費があります。基金を活用したいということですが、優先順位をつけているのでしょうか。この事業を先に着手したいから、基金を使ってということの理解でよろしいでしょうか。この基金の使い分けというのはどのようになっているのでしょうか。

(藤沢地域振興課長) 9月議会の定例会でご審議いただいているところですが、真田丸に関連しましては、放送まで1年3ヶ月ほどになっておりますので緊急性があります。早急に整備していかなければならないという部分で、この基金を活用させていただいて、すぐにでも実施したいという方針であり、優先度が高い事業でございます。地域の課題解決、地域の資源の利活用、そういったことを目的に早急に実施したいという事業ということで考えております。

(会長)我々としては意見を述べるという立場にあります。その上で自治センターにおいて判断していただくための意見を申し上げるということになります。いかがでしょうか。特に無いようであれば、特にこちらからの意見はないということで閉めさせていただきます。

～意見なし

(藤沢地域振興課長)特段のご意見、ご異議がないということで、これに基づいて実施させていただきます。ありがとうございます。

(3) 分科会協議状況について

(会長)第1分科会では正副会長、第2分科会では、当面、分散会ということで2つに分けて正副会長を選出していただいたわけですが、どなたがなられたか事務局から報告をお願いします。

～事務局から説明～

(会長)この後、分科会、分散会ということで協議をいただきますが、それぞれの分科会・分散会の中でどのような話し合いになっているかという状況を、各会長さんから5分程度でお話をください。最終的には協議会としてのまとめに入りますので、途中のところでご報告をいただいて、みなさんの方からなにかご意見等あったら、それを取り込んで、各分科会の中で協議していただくようになります。第1分科会から報告願います。

～田中 第1分科会長から報告～

～小宮山 第2分科会 第1分散会長から報告～

～宮下 第2分科会 第2分散会長から報告～

(会長)ご質問ありますか。特になければ、皆さんの分科会の中でさらに内容をつめていただくことになろうかと思えます。今後、皆さんの方からだされたご意見をまとめていくという形になります。それにおきましては、役員の中でどのようにまとめていくかということを考えていって、皆さんのほうにご提示したいと思えます。これは、それぞれの団体、例えば観光なら観光に関する団体等にお願いするだとか、或いは自治センターの中にお願するだとか、できるだけ皆さんの中で出されたご意見を活かしていただくように諮りたいということにしたいと思っております。皆さんにお配りした協議記録に記載のとおり「真田地域全体でできること」「史跡等所在地域でできること」「各種団体でできること」でまとめておく実行段階においてしやすくなりますので、各分科会・分散会長のみなさんにおかれましては、まとめかたを意識しながら、進めていただけたらと思えます。

5 その他

次回協議会開催日時について

(副会長)次回は10月29日(水)午後7時からでよろしいでしょうか。本日の分科会協議の結果をまとめ、その結果をどのようにしていくか協議したいと思えます。また、わがまち魅力アップ応援事業の第3回募集が現在行われており、応募があった場合には、審査をお願いするようになります。時間があれば7月の協議会で決定しました分科会協議テーマに入れればと思えます。

・ 全員了承

(副会長)事務局からなにかありますか。

～事務局から説明～

6 全体会閉会

7 分科会協議

「NHK大河ドラマ放送に伴う真田地域での対応について」

～各分科会に分かれ協議。第1分科会301会議室、第2分科会第1分散会302会議室、第2分科会第2分散会303会議室

～各分科会ごとに閉会